

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人 水の都プロジェクト協議会
テーマ名	環境の保全（景観保全含む）
事業名	地域で守る水辺環境と水辺の学校事業
事業費(うち助成金額)	473,600 円 (443,600 円)



■事業目的

浜乃木、袖師地区の宍道湖畔沿いは、県立美術館周辺の水辺広場、夕日観賞用の夕日スポットなど、水辺の憩い空間は整備されているものの、水と直接ふれあえる親水広場は無く、景観を中心とした湖畔空間となっている。

この様な中、湖畔に残る州浜環境の回復や親水広場整備など、水辺環境保全への感心が高まる状況となっていた。

この課題解決に当り、水辺景観スポットと隣接する自然豊かな州浜環境を対象にした水辺の保全、水環境回復への啓蒙を目指す事業を実施した。

■事業内容

主な活動として、水辺環境保全となる現況州浜のヨシ刈りや漂流物回収、水環境学習としての遊び体験や水辺の教室を行った。

①第1回州浜ヨシ刈り作業実施 (25人参加)

草刈り機でのヨシ刈り・漂流物、ゴミ収集作業→トン袋詰め作業・漁船により船着場へ運搬→陸揚げ、運搬処分

②水遊び体験・水辺の教室実施 (大人32人・小人28人参加)

ゴズ釣り大会スタート→水辺の教室(宍道湖水環境の五感調査・宍道湖の魚類説明等)→大物賞発表

③第2回州浜清掃作業実施 (23人参加)

草刈り機でのヨシ刈り・漂流物、ゴミ収集作業→トン袋詰め作業・漁船により船着場へ運搬→陸揚げ、運搬処分

■事業成果と今後の展望

〈事業成果〉

○2回の州浜ヨシ刈り、漂流物回収作業等により、既設の州浜が回復し、水辺植生の生育環境が整うなど、水辺環境保全エリアが形成された。又、州浜利用の余裕ある水辺広場スペースが確保できた。

○水辺の学校では釣り大会、水環境学習会により、水環境や水辺の自然を楽しく学び、宍道湖環境保全への感心を高める事ができた。

〈今後の展望〉

○ヨシ刈り、清掃活動では地域リーダーが主体となり、運搬処分船では地元漁業者に依頼できるなど、地域住民が主体となる連携体制ができたことにより、今後の持続的な環境保全活動への道筋が確立された。